

基本目標２ 緑豊かで、住んでいて心地よく、 人と自然が共生するまちをつくる

本市は、山々に囲まれ、猪苗代湖や阿賀川とそれを支える河川が流れ、豊かな田園が広がるなど自然環境や水資源に恵まれた地域です。

また、猪苗代湖は水源としての利用はもちろん、湖水浴やキャンプなどレジャーにも活用され、人と自然が共生してきました。

これらの森林や水辺などには、貴重な野生動植物や様々な生物が生息・生育していることから、貴重な自然環境を守り、生態系の多様性を確保する必要があります。

そのため、多様な生態系を守る活動を推進するとともに、市民と協働のもと、緑化などの良好な環境の保全活動を推進し、人と自然が共生するまちをつくります。

個別目標２－１ 豊かな自然環境を守り、育てるまち
 個別目標２－２ 美しい里山と農地を守り、活かすまち
 個別目標２－３ 猪苗代湖の水環境を守り、次代に引き継いでいくまち
 －猪苗代湖水環境保全推進計画－

環境目標 令和５年度実績



個別目標	環境目標	目標値と実績値				R 5 実績値の評価・分析	
		現状値	実績値		目標値	前年度との比較	目標値達成状況
		H24	R 4	R 5	R 5		
2－１	森林施業面積	1,347ha	2,126ha	2,146ha	2,267ha	↗	未達
	自然環境や動植物の保護を行う市民の割合	21%	(H30) 10.5%	12.2%	60%	↗	未達
2－２	環境保全型農業直接支援対策事業の対象面積	(H27) 5,987a	9,829a	9,876a	(R 8) 7,000a	↗	達成
	担い手に集積された農用地の面積割合	59.1%	80.4%	83.6%	(R 8) 78%	↗	達成
2－３	農業集落排水施設水洗化率	赤井：97.0% 共和：90.4%	赤井：98.8% 共和：95.0%	赤井：99.4% 共和：94.7%	赤井：100% 共和：94.8%	↗	未達
	高度処理型浄化槽の普及率	25.9%	35.9%	37.6%	45%	↗	未達
	猪苗代湖・流域清掃活動参加者数	514名	0名	546名	600名	↗	未達

個別目標	環境目標			目標値と実績値				R5実績値の評価・分析	
				現状値	実績値		目標値	前年度との比較	目標値達成状況
				H24	R4	R5	R5		
2-3	猪苗代湖及び流入河川の水質	中田浜	COD	0.7mg/ℓ	1.3mg/ℓ	1.2mg/ℓ	0.7mg/ℓ以下	↗	未達
			全窒素	0.18mg/ℓ	0.22mg/ℓ	0.19mg/ℓ	0.2mg/ℓ以下	↗	達成
			全リン	0.011mg/ℓ	0.005mg/ℓ	0.007mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下	↘	達成
		赤井川	BOD	1.4mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.2mg/ℓ以下	→	達成
			全窒素	1.24mg/ℓ	1.17mg/ℓ	1.26mg/ℓ	1.1mg/ℓ以下	↘	未達
			全リン	0.093mg/ℓ	0.121mg/ℓ	0.101mg/ℓ	0.08mg/ℓ以下	↗	未達
		原川	BOD	0.8mg/ℓ	0.5mg/ℓ	0.8mg/ℓ	0.8mg/ℓ以下	↘	達成
			全窒素	0.53mg/ℓ	0.45mg/ℓ	0.54mg/ℓ	0.5mg/ℓ以下	↘	未達
			全リン	0.031mg/ℓ	0.024mg/ℓ	0.051mg/ℓ	0.03mg/ℓ以下	↘	未達

評価

自然環境関連の環境目標については、全体的に良化傾向にあります。とくに、猪苗代湖の流入河川の水質は近年良化傾向にあり、令和5年度もおおむね良好な環境が維持されていますが、他方、改善が見られていない指標もあります。

人と自然が共生するまちをつくるため、引き続き、市民や事業者の皆様、県及び関係自治体との連携・協働のもとに、森林や里山の保全、生物多様性の確保、猪苗代湖の水環境の保全に取り組んでいく必要があります。



環境施策 令和5年度取組実績

個別目標2-1 豊かな自然環境を守り、育てるまち

◇生態系に配慮した土地利用を行います

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R5年度事業実績	これまでの事業評価
水路工事 〔農林課〕	・農村地域の環境改善を目的として集落内の生活排水路などを整備する。	・水生生物に配慮した水路の維持管理を行った。	・集落内の生活排水路などを整備し、水質汚染の軽減を図ること で、農村地域の環境改善を図りつつ、水生生物へ配慮した。H26～R5までの期間に延べ39箇所の水路整備を実施した。
会津若松市開発行為等指導要綱に基づく緑化等の指導 〔開発管理課〕	・公園等の設置に対し指導する。 (開発区域面積が3,000㎡以上である場合、区域の3%以上)。	・開発許可件数 21件 (新規10件 変更11件) ・うち緑地及び緑化施設設置件数 新規1件、変更1件	・開発区域において緑地及び緑化施設が適切に設けられ、緑化が図れた。

◇森林の保全と活用を図ります

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R5年度事業実績	これまでの事業評価
森林整備地域活動交付金事業 〔農林課〕	・森林整備地域活動支援事業により、森林経営計画の策定に向けて、林業事業体が行う森林所有者の合意形成等を支援する。	・交付金の交付はなかったが、森林情報提供などの準備作業への支援を行った。	・近年、交付金の申請実績はないものの、森林経営計画の策定に向けた取り組みの一つとしてその有効性は高いものと考えている。
治山事業 〔農林課〕	・自然災害等による森林の復旧を図る。 ・保安林整備事業等により保安林の整備と、荒廃森林の復旧を図る。	・大戸町大字芦牧峠地区の復旧に向け、県において工事を発注した。	・平成26年度に県において門田町大字御山字山寺地区の復旧を完了し、令和2年度から大戸町大字芦ノ牧字峠地区の復旧工事を実施している。
林業専用道整備事業 〔農林課〕	・林業専用道舟子峠線を開設し、森林施業に供することで森林整備を図る。	・令和4年度から繰越した工事が完了した。 施工延長 162.3m 令和5年度の工事については、積雪等による天候不良の影響のため、令和6年度へ繰越した。 施工延長 154.2m	・令和元年度からの林業専用道の整備により、令和2年度に当該道路を活用しての森林施業(間伐)が実施され、森林整備に寄与した。
森林病虫害等防除事業 〔農林課〕	・湊町ほか保全すべき森林における松くい虫等の被害を鎮静化させるため、伐倒や薬剤注入等により駆除を行う。	・伐倒駆除 39本 ・材積 37.53㎡	・本事業を実施したことにより、本市の木、アカマツが対象であるため、森林資源の保護、確保ができた。また、観光資源である松林の風致及び景観の保全につながった。

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
会津若松市建築業森林ボランティア、森林環境ボランティア、森林環境ボランティア 〔農林課〕	・会津若松市建築業森林ボランティア、森林環境ボランティアを活用し、森林づくりを推進する。	・会津若松市建築業森林ボランティア参加者数 6 名（本年度で活動を終了） ・森林環境ボランティアは、本年度の活動実績がなく、本年度で活動を終了。	・これまでに、森林ボランティアにより、市有林における下刈り、除伐等を実施した。

◇豊かな緑と水辺地を保全、創出します

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
赤井谷地保存整備事業 〔文化課〕	・国指定天然記念物赤井谷地沼野植物群落の保護及び湿原回復のため、水環境調査・植生調査を行う。 ・保存管理指導会議を開催し、湿原回復の方策や今後の活用方針を検討する。 ・湿原保護への理解を深めるため、市民向けの散策会を実施する。	・水環境調査（5 月～11 月）・植生調査（9 月）を行い、12 月開催の指導会議において保全策等の検討を行った。 ・観察会を実施（8 月 26 日）し、谷地保護に係る市民の啓発を行った（参加者 22 名）。	・水環境と植生に係る継続調査を実施し、谷地の現況を把握することにより、指導会議で指導を受けながら谷地の保全を図るとともに、観察会の実施により谷地保護の啓発を行った。
文化財整備事業 〔文化課〕	・国指定天然記念物高瀬の大木を後世に残すために病虫害の防除や施肥等の保存整備を行う。	・保存整備（11 月～1 月、支柱補修、枯枝処理、木道修繕）を実施した。	・保全治療によって、高瀬の大木の樹勢をおおむね維持することができた。
自然景観指定緑地の指定 〔都市計画課〕	・景観形成上、重要な森林や樹木、緑地等を自然景観指定緑地として指定、支援することにより、自然資源の保全を図る。	・指定緑地 0 件 ・登録緑地 5 件 ・維持管理費等助成 8 件	・指定・登録緑地の件数はほぼ横ばいであるものの維持管理費等助成の件数は増加している。 【指定】 平成 26 年 34 件 ⇒令和 5 年 35 件 【登録】 平成 26 年 61 件 ⇒令和 5 年 65 件 【助成】 平成 26 年 95 件 ⇒令和 5 年 193 件 このことから、本市における貴重な自然資源の保全に対する管理者等の理解が進んでいると考えられる。
花と緑の推進事業 〔まちづくり整備課〕	・花苗生産基地において、花苗を生産する。 ・庁舎・学校等の公共施設に花苗を配付し緑化美化を図る。	・花苗生産基地において、77,040 本花苗を生産し、99 箇所の庁舎・学校等の公共施設に花苗を配付し緑化美化を図った。	・庁舎、学校等の公共施設に花苗を配布したことにより、地域の緑化美化を推進した。

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R5年度事業実績	これまでの事業評価
福島県自然公園清掃協議会への加入 〔観光課〕	・自然公園内の美化清掃事業及びその思想の啓蒙・普及活動を行う。	・地元団体と連携し清掃業務委託を実施し、利用者へゴミの持ち帰りや直火禁止などの声掛けにより、環境美化に関する啓発を行った。	・湊四浜における利用者数 H26 (26,366人) R1 (34,301人) R2 (10,497人) R3 (17,220人) R4 (21,478人) R5 (23,908人) 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は一時的に減少しましたが、回復傾向が見られます。また、ネットの書き込みなどでも高評価を得ており、一定の成果があると考えられる。
国土緑化推進事業 〔農林課〕	・森林資源の造成と国土保全並びに水資源のかん養を図り、以って国土緑化に寄与することを目的とし、事業を行う。	・各事業参加人数のべ108人 (エコカル子どもクラブ 60人) (グリーンスクール 48名)	・森林資源の恩恵を感じられるよう、市内の森林ボランティア団体と連携して市民を対象とした各種啓発事業を継続実施することを通じて、市民協働の森づくりに寄与した。
緑の基本計画進行管理 〔まちづくり整備課〕	・緑化施策の指針として活用し、市内の緑化を推進する。 ・緑の基本計画の見直しを行う。	・令和5年度に緑の基本計画について、公表した。	・市内の緑化推進にあたり、一定程度の成果は得られた。
公共施設での緑化 〔市民課〕	・斎場敷地内の緑化の維持管理を行う。	・斎場敷地内の緑化の維持管理を実施した。	・毎年、花苗の植栽及び業務委託により樹木の手入れや草刈り等の維持管理を実施した。
基幹集落センター等の緑化 〔農政課〕	・基幹集落センターにおいて、指定管理者により樹木の手入れや草刈り等の緑地保全活動を実施する。 ・北会津農村環境改善センターにおいて、業務委託により年2～3回、樹木の手入れや草刈り等の緑地保全事業を実施する。	・定期的な樹木の手入れや草刈り等により、緑地を適切に保全することが出来た。	・定期的な樹木の手入れや草刈り等により、緑地を適切に保全することが出来た。
水源周辺の清掃 〔上水道施設課〕	・水源周辺の清掃及びパトロールを実施する。	・東山ダム周辺や湯川上流のパトロールを実施した。	・東山ダム周辺や湯川上流のパトロールを実施し水源環境の把握に努めた。
市場の緑化 〔農政課〕	・指定管理者において、市場内花壇への花苗の植付及び空地の草刈りを実施する。	・市場内花壇への花苗の植付及び空地の草刈りを指定管理者である(一社)会津若松市公設地方卸売市場協会によって実施した。	・指定管理者による花苗の植付及び草刈り等により、緑地を適切に保全することが出来た。

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R5年度事業実績	これまでの事業評価
児童館や保育所施設の緑化 〔こども保育課〕	・児童館・保育所において、花壇などの緑化に努め、児童や保護者、地域住民の意識高揚を図る。	【児童館】 ・利用児童や地区の老人クラブによる花苗栽植(200本) 【広田保育所】 ・年長児によるグリーンカーテン栽培活動 ・2歳以上児クラスの栽培活動 ・保護者や児童による花苗(400本)、植木栽植 【中央保育所】 ・ジャンボひまわりの栽培と観察 ・3歳以上児による栽培活動の実施 ・花壇での花苗栽植(320本)	【児童館】 ・花壇等、児童館周囲の緑化や美化に努めたことで、児童や保護者、地域住民の啓発に繋がった。 【広田保育所】 ・グリーンカーテンの生長により保育室の室温が下がり、エアコンの使用頻度を減らすことができた。 ・児童が自然に興味関心を持ち、植物が育つ喜びを感じることができた。 【中央保育所】 ・栽培活動を通して、身近な植物や野菜への児童の興味関心を高めることができた。 ・育てた野菜を実際に調理して食べることで、食育活動に展開することができた。
ノーマライズ交流館の緑化 〔障がい者支援課〕	・障がい者優先調達推進法を利用して植栽の整備を行うとともに、花壇への新たな花苗の植栽などを検討する。	・敷地内の草刈りや樹木の剪定のほか、まちづくり整備課から支給された花苗を植栽し、施設の緑化に努めた。	・各年度の活動により施設内の緑地を維持することができた。
下水浄化工場の緑化 〔下水道施設課〕	・豊かな緑を創出するため、下水浄化工場の玄関付近をプランターの花で飾る。	・下水浄化工場で作成しているコンポストを使い、浄化工場の玄関付近をプランターの花で飾った。	・下水処理施設のイメージアップにつながった。
市営住宅の緑化 〔建築住宅課〕	・豊かな緑を創出するため、市営住宅の施設整備において敷地内の緑化を推進する。	・城前団地第5期の植栽工事において、野芝及びドウダンツツジの植込みを取り入れ、整備を図った。	・公営住宅の緑化については、建替工区ごとに緑化を推進しており、住環境の向上が図られている。
公共施設での緑化 〔上水道施設課〕	・浄水場内での緑化を図る。	・滝沢浄水場と東山浄水場において、場内の除草及び花苗の管理を実施した。	・滝沢浄水場と東山浄水場において、場内の除草及び花苗の管理を実施し、環境を維持した。
ふれあい体育館等の緑化 〔スポーツ推進課〕	・緑化の充実を図るため、ふれあい体育館等の花壇を整備する。	・市民・施設利用者・指定管理者の協働による「花と緑のサポーター活動」として花壇の整備・苗の定植などを7回実施した。	・指定管理者の自主事業「花と緑のサポーター活動」が継続して行われるようになり、市民・施設利用者・指定管理者が協働して緑化に努めたことで、各施設内の環境整備が充実した。

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
庁舎の緑化 〔北会津支所 まちづくり推 進課〕	・庁舎の花壇及びプランターに花 苗を植栽し、庁舎の緑化に努め る。	・プランターに花苗を 植栽し、庁舎出入口等 に設置した。 ・庁舎の花壇に花苗を 植栽した。 ・雑草、落葉の処理を 定期的に行った。	・毎年度、庁舎の花壇 等に花苗の植栽を行っ たことにより、緑化の 推進が図られた。
庁舎の緑化 〔河東支所ま ちづくり推進 課〕	・庁舎周辺の花壇等に花苗を植栽 し、支所の緑化に努める。	・庁舎敷地内の樹木の 剪定施肥や花の管理 (多年草の剪定施肥・ 一年草の植栽等)を実 施した。 これまで燃やせるご みとして搬出していた 剪定枝や雑草を堆肥と して還元した。 また、雑草対策とし て流木チップの散布 や、刈り取った雑草や 落葉等を樹木の根周 りに敷き詰めた。	・1年を通して来庁者 の方が庁舎敷地の花木 や緑を感じることがで きた。
国土緑化推進 委員会事業 (植樹祭・公 共施設等緑化 事業) 〔農林課〕	・植樹を通して市民の方々に緑化 の重要性を認識していただき、併 せて緑化思想の高揚と市民生活環 境の向上に寄与する。 ・公共施設、自然緑地、公園等を 緑化する団体等へ緑化苗木や花苗 を無償配布する。	・第72回植樹祭実施 参加者82名 ・公共施設等緑化推進 事業の実施し、9団体 へ苗木、花苗配布。	・植樹を通して市民の 方々に緑化の重要性を 認識していただき、併 せて緑化思想の高揚と 市民生活環境の向上に 寄与してきた。 ・公共施設、自然緑 地、公園等を緑化する 団体等へ緑化苗木や花 苗を無償配布すること を通じて、緑化啓発さ れてきた。
国際的ふるさ と会津創生事 業 〔まちづくり 整備課〕	・町内会等との連携により公園・ 緑地の維持管理を実施する。	・町内会等との連携に より公園・緑地の維持 管理を実施した。	・町内会と連携するこ とで、公園及び緑地等 における日頃の状況 (例えば危険な案件の 報告等)を常に把握す る事が出来た。
景観まちづく り協定地区等 における緑化 等の支援 〔都市計画 課〕	・協定地区等の緑化を支援するこ とにより、まちなかの緑を保全、 推進する。	・公開空地の緑化等 に対する助成 0 件 (利用申請がなかった ため)	・平成26年度以降、公 開空地の緑化等に対 する助成は行われてい ない。 【助成】 平成26年 21件 ⇒令和5年 21件 協定地区等の緑化に 対する地区住民等の理 解が必要となっている。
都市公園緑地 等整備・維持 管理事業 〔まちづくり 整備課〕	・都市の環境及び安全性の向上を 図り、市民の活動や憩いの場を形 成するため、良好な維持管理に努 めるとともに、必要に応じ施設整 備を行う。	・公園内の樹木管理や 施設改修・維持補修等 を実施し、市民の憩い の場として利用できる よう環境整備を図っ た。	・公園内の樹木管理や 施設改修・維持補修等 を実施したことによ り、安全、安心して過 ごせる市民の憩いの場 を提供した。
まちなみ環境 整備事業 〔まちづくり 整備課〕	・都市計画道路会津若松駅中町線 の美装化(道路改良)の整備を行 う。	・道路空間を活用した 賑わいづくりの実証実 験を実施し、賑わいづ くりの拠点の考え方 について、一定程度の成 果が得られた。	・良好な歩道空間の整 備が進められてきた。

◇野生生物を適正に保護します

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R5年度事業実績	これまでの事業評価
野生生物生息環境保全事業 〔環境生活課〕	・野生生物生息環境調査を行い、生息環境の保全に努める。 ・身近な生き物基本調査会議を開催し、意見を野生生物の保護に役立てる。 ・ホームページや市政だよりに生き物についてのコラムを掲載し、市民の野生生物保護についての意識啓発を行う。	・野生生物生息環境調査を行った。 ・身近な生き物基本調査会議を開催し、市の環境保全事業や市内での開発行為に対する意見を得た。 ・ホームページへの情報を掲載したほか、市政だよりにより毎月コラムを掲載した。	・野生生物生息環境調査を行い、身近な生き物基本調査会議を開催し、市の環境保全事業や開発行為に対する意見を得た。ホームページへの情報を掲載し、市政だよりにより毎月コラムを掲載していたが、野生生物に関する市民の関心は高まりつつある。
文化財整備事業 〔文化課〕	・県指定天然記念物白山沼のイトヨ生息地の環境保全のため、イトヨ生息数等の生態調査を行う。	・8月末にイトヨ生息現地指導を実施した。 ・イトヨは減少傾向にあると判断される。 ・湧水環境が脆弱化しているようである。 ・水鳥の糞堆積によるイトヨの生息環境への影響が推定される。 ・著しい植物繁茂による水質悪化が生じている懸念がある。	・イトヨ生息現地指導を通じて、現状の課題を認識することができた。
阿賀川河川環境整備事業 (水辺の楽校) 〔まちづくり整備課〕	・市民が快適に利用できるよう指定管理者による維持管理を継続して実施する。	・市民が快適に利用できるよう指定管理者による維持管理を実施した。	・指定管理者による維持管理を実施した事により、施設利用者が快適に利用していた。

みんなで守ろう！生物多様性

「生物多様性」とは、陸、空、海、河川、森林など、地球全体に多様な生物が存在していることを指します。

地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種もの多種多様な生きものが生まれました。これらの生きもの一つひとつに生命と個性があり、わたしたち人類も含め、全ての生きものが直接的又は間接的に支えあって生きています。

わたしたち人類は、わたしたちのいのちと暮らしを支えてくれるこの豊かな生物多様性を守り、次世代につなげていかなければなりません。



地球は鳥や魚や昆虫、草木、花、そして僕たち動物たちなど、全てがつながって成り立っているんだね。



個別目標 2-2 美しい里山と農地を守り、活かすまち

◇里山を保全します

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
背炙山公園野草ゾーン整備事業 〔まちづくり整備課〕	・市民が快適に利用できるよう野草ゾーンの除草等の維持管理を含め、指定管理者による管理を実施する。	・市民が快適に利用できるよう指定管理者による維持管理を実施した。	・指定管理者による維持管理を実施した事により、施設利用者が快適に利用していた。
ボランティアによる下刈り等の実施 〔農林課〕	・一般市民を対象としたボランティアによる下刈り等を実施する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	・一般市民の方とともに植樹祭を開催した後の下刈り作業等を実施した。
保安林の整備 〔農林課〕	・国土防災、自然環境の維持から森林の有する多面的機能の高度発揮を目的に積極的に保安林の指定・整備を図る。	・市で直接整備は行っていないが、県事業に対する協力・支援を実施。	・県事業に対する協力・支援を行い、復旧事業等に伴う保安林の指定、整備等を実施。

◇農地を保全します

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
中山間地域等直接支払事業 〔農政課〕	・農地の耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、適切な農業生産活動（草刈・道水路管理）を通じて環境にも配慮するよう指導する。	・農地の耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、適切な農業生産活動（草刈・道水路管理）を通じて環境にも配慮するよう指導した。 ・取組集落数 13 集落 ・取組面積 196ha	・条件不利地域を多く有する中山間地域での営農継続を支援することで、山間部の荒廃を防止した。
遊休農地解消対策 〔農政課〕	・遊休農地の引き受け手となる農業者の確保に努め、引き受け手が確定したものから、順次、福島県農村地域活性化事業補助金を活用して再生作業を実施する。	・地域の担い手農業者等により再生作業が行われた。 （遊休農地の解消〔農業委員会事務局〕参照）	・各種補助金等を活用し、遊休農地の解消を進めることができた一方、新たな遊休農地が発生し続けている現状がある。
多面的機能直接支払事業 〔農政課〕	・農業・農村の持つ多面的機能の維持のため、各集落が行う農用地の草刈や水路の泥上げ等の共同活動を支援する。	・活動組織に対し交付金を交付し、共同活動の支援を行った。 ・活動組織 104 組織 ・取組面積 4,501ha	・農業・農村の持つ多面的機能の維持のため、各集落が行う農用地の草刈や水路の泥上げ等の共同活動を支援することができた。
遊休農地の解消 〔農業委員会事務局〕	・農地法第 30 条の規定に基づき毎年 1 回管内の農地の利用状況についての調査を行い、耕作が放棄されている農地や非農地化した荒廃農地に分類し、新たに遊休化した農地や、過去に指導し改善されない遊休農地の所有者に対し、利用意向調査を実施しながら指導・勧告等を行うことで、遊休農地の発生防止に努める。	・令和 5 年 8 月に実施した利用状況調査により新たに 3.9ha の遊休農地を確認したが、農業委員等による解消指導や地権者の努力等により 7.1ha を解消した。この結果、本市における遊休農地面積は 30.1ha（令和 5 年度当初）から 26.9ha（令和 5 年度末）に減少し、一定程度の解消が図られた。	・遊休農地については例年一定程度の新規発生があるものの、発生確認後、早期に対応することで、その解消に努め、規模の拡大を防いでいる。

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
基盤整備事業 〔農林課〕	・優良農地の区画整理と農業者の収益向上やコスト縮減を目的とする。	・動植物の保護を目的とする生息に配慮した施設の計画、整備を行った。	・計画策定時に農村環境アドバイザーによる動植物等の調査や、動植物等の保護を目的とする生息に配慮した施設の計画、整備を実施した。
環境保全型農業直接支払事業 〔農政課〕	・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取組と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う組織に対して支援を行い、環境にやさしい農業の推進を図る。	・環境保全に効果の高い営農活動を行う活動組織に対して交付金を交付し、地球温暖化の防止や生物多様性保全に資するための取組の推進を図った。 ・活動組織数 6 組織	・環境保全に効果の高い営農活動を行う活動組織に対して交付金を交付し、地球温暖化の防止や生物多様性保全に資するための取組の推進を図ることができた。

◇農業・農村体験ができる場をつくります

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
グリーンツーリズム支援事業 〔農政課〕	・農業農村体験受入促進のために、受入体制整備やPR活動を行う。	・農業体験受入時の体験料について、学習会・先進地視察を12月21日～22日に市内や南会津で実施。 会員7名・オブザーバー2名・事務局4名の計13名が参加した。	・農業農村体験の受入にに必要な知識・手法を取得するための学習会を開催して、受入態勢整備を図ることが出来た。
子どもの森整備 〔生涯学習総合センター〕	・市民の身近な自然に親しめる場所として、敷地内の環境の整備を継続する。 ・主催講座の実施により、子供たちの豊かな情操教育と自然学習の支援を行う。	・子どもの森の管理人を中心に、ボランティアアサポーター（登録数10名）とともに環境整備に努めている。また、センター職員も定期的に訪問し現況確認と情報交換を行い、環境改善に努めた。その成果として、自然環境に恵まれた場所ということもありキャンプ等の利用が更に増えている。 ・主催講座を10月14日（土）に実施し、利用の機会を提供するとともに、学校の利用促進を図るための広報にも努めた。	・現在の管理人の尽力により、自然環境整備が大幅に改善され、誰でも気軽に自然に触れ合える場所になった。また、数年前までは団体利用が中心だったが、近年はキャンプ等の個人利用が大幅に増えており、身近な自然体験施設として、より多くの市民に認識されるようになった。
小田山公園の整備 〔まちづくり整備課〕	・公園巡視を行うとともに、給水施設等の維持管理を行う。	・給水施設の修理と維持管理を実施した。	・給水装置の修理及び維持管理を実施することにより、施設利用者に不便をかける事は無かった。
七日町市民広場の整備 〔観光課〕	・七日町市民広場の管理、利活用の促進を行う。	・市政だよりにおいて七日町市民広場の利用について広報を行った。可動式横長ベンチの修繕を行った。	・広場のステージ部分床板の修繕、サークルベンチ、横長ベンチの修繕を実施した。

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
市民農園等設置運営事業 〔農政課〕	・市民農園の貸し出しにより市民が実際に農作業を体験する機会を創出し、農業や自然環境、食に対する理解を深める。	・農作業の体験などを通して自然環境や農業への理解を深めた。 ・市民農園 81 区画 ・ふれあい農園 60 区画	・市民農園・ふれあい農園の貸出・紹介を行うことにより、多くの市民に農作業を体験してもらうことができた。
自然環境教室の開催 〔環境生活課〕	・市民を対象に自然環境教室を年3回開催し、市民の自然環境保護、野生生物保護に関する意識の醸成を図る。	・自然環境教室を3回開催し、54名が参加した。市民の自然環境保護、野生生物保護に関する意識は高まりつつある。	・自然環境教室を開催し、市民の自然環境保護、野生生物保護に関する意識は高まりつつある。
森林浴 〔農林課〕	・会津東山自然休養林内の遊歩道を探索し、自然観察や野鳥観察を盛り込んだ森林浴を実施する。	・森林浴参加者 12 名	・遊歩道の定期的な巡回・点検に併せて適切な維持管理に継続して行い、通行止めを解除をすることができた。

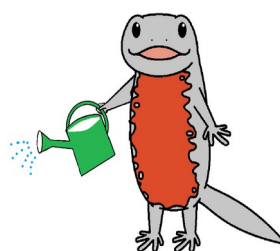
個別目標2-3 猪苗代湖の水環境を守り、次代に引き継いでいくまち ー猪苗代湖水環境保全推進計画ー

◇自然汚濁・面的汚濁を低減します

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R5年度事業実績	これまでの事業評価
森林環境基金 森林整備事業 〔農林課〕	・森林環境税を財源とした基金により、スギ等の人工林の間伐事業を実施する。	・市内各地区の間伐 11.02ha (内訳) 湊町平湯 6.05ha 大戸町芦牧 1.20ha 大戸町高川 3.77ha	・毎年、間伐事業が一定程度実施されてきており、生育環境の向上による森林の適切な生長を促し、森林がもつ多面的な機能の増進に繋がった。
エコファーマー認定制度 〔農政課〕	・堆肥等を活用した土づくりと化学肥料・農薬使用の低減に一体的に取り組む農業者をエコファーマーと認定し、環境と調和した生産を推進する。	・持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律の廃止に伴い、認定受付終了。	・堆肥等を活用した土づくりと化学肥料・農薬使用の低減に一体的に取り組む農業者をエコファーマーと認定し、環境と調和した生産を推進することができた。

◇人為汚濁を低減します

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R5年度事業実績	これまでの事業評価
農業集落排水事業 個別生活排水事業 (高度処理) 〔下水道施設課〕	・湊町区域における農業集落排水事業の接続促進を図る。 ・湊町区域における個別生活排水事業の整備促進を図る。	・湊町区域における農業集落排水事業の接続率 赤井地区 99.4% 共和地区 94.7%	・農業集落排水処理施設への接続により汚水処理が適正に行われ、湊町区域における生活環境の向上が図られた。
湊四浜環境整備事業 〔観光課〕	・湊四浜湖水浴場の安全管理と整備を行う。	・崎川浜の公衆便所浄化槽の整備、維持管理を行った。	・湊四浜における利用者数 H26 (26,366人) R1 (34,301人) R2 (10,497人) R3 (17,220人) R4 (21,478人) R5 (23,908人) 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は一時的に減少しましたが、回復傾向が見られます。また、ネットの書き込みなどでも高評価を得ており、一定の成果があると考えられる。



◇水辺環境の保全・整備促進を図ります

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
環境美化推進事業 〔廃棄物対策課〕	・地区環境美化推進協議会の支援や補助及び清掃指導員と生活環境保全推進員による指導・啓発により、環境の保全を図る。	・各地区環境美化推進協議会（18 地区）に対し補助金を交付し、活動の支援を実施した。	・地区環境美化推進協議会の支援や補助を通して、ごみ減量化事業や地区内クリーン事業、花いっぱい運動など、環境保全と美化の推進が図られた。
ビーチクリーナーによる湖岸清掃 〔環境生活課〕	・猪苗代湖環境保全推進連絡会により、猪苗代湖湖岸の環境美化を図るため、砂浜の清掃を実施する。	・猪苗代湖環境保全推進連絡会において、崎川浜・中田浜・小石ヶ浜の清掃を行った。 (延べ3回)	・猪苗代湖環境保全推進連絡会で、崎川浜・中田浜・小石ヶ浜の清掃を行い、きれいになってきている。

◇市民参加による水環境保全活動の活性化に努めます

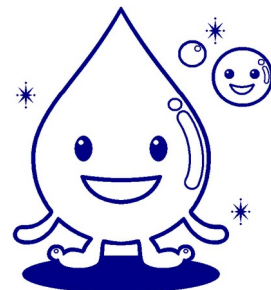
実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
猪苗代湖環境保全推進事業 〔環境生活課〕	・本市の水資源及び観光資源として重要な猪苗代湖の水環境の保全に向け、福島県及び関係市町村並びに関係機関・団体と連携しながら、水環境保全対策を進める。	・猪苗代湖岸クリーンアップは、3 回実施され参加した。 ・県や猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の湖岸清掃やヨシ刈り、ヒシ刈りのボランティアについて参加を呼びかけるとともに、主催本部に参加した。	・猪苗代湖岸クリーンアップに参加し、県や猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の湖岸清掃やヨシ刈り、ヒシ刈りのボランティアの参加を呼びかけ、主催本部に参加し、猪苗代湖の浜はきれいになってきている。

◇水環境保全思想の啓発促進、地域交流・水文化の形成に努めます

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
猪苗代湖の水環境講座の実施 〔環境生活課〕	・猪苗代湖の自然の浄化作用等の学習により、猪苗代湖の水環境保全に対する意識の向上を目的とする。	・湊小学校で2 回の出前講座を開催した。	・猪苗代湖の自然の浄化作用等の学習により、猪苗代湖の水環境に対する意識は向上されつつある。
シンポジウム、セミナー等の開催 〔環境生活課〕	・猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群流域の水環境保全に係る情報の共有、意識の高揚を図り、流域における水環境保全活動を推進する。	・猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群流域の水環境保全に係る情報の共有、意識の高揚を図り、流域における水環境保全活動を推進する。	・猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の水環境フォーラム参加や猪苗代湖環境保全推進連絡会主催の子ども交流会を開催することにより、水環境保全に関する意識や行動が高まりつつある。

◇水環境保全に関する調査研究等の充実に努めます

実施事項 〔担当所属〕	事業概要	R 5 年度事業実績	これまでの事業評価
猪苗代湖流入 河川水質調査 事業 〔環境生活 課〕	・継続して主要河川及び猪苗代湖 流域での水質調査を実施し、水環 境の現状を確認するとともに、調 査結果の公表を行う。	・計画通り年間10回の 水質調査を実施した。 結果については概ね基 準を満たしていた。 ・令和4年度の調査結 果について公表を行っ た。	・計画通り水質調査を 実施し、結果について は概ね基準を満たして いた。



水環境キャラクター
みずくん、たまちゃん

特集 「野生生物生息環境保全事業」

(担当課：環境生活課)

本市は背あぶり山や猪苗代湖などの豊かな自然に恵まれており、たくさんの生き物たちが生息する豊かな生態系が築かれています。

市では、豊かな自然を将来に引き継いでいくためには、生き物を知り、その環境を守ることが大切であると考え、以下の事業を実施しています。

1 野生生物生息環境調査

市内の野生生物の生息環境の変化について、市内 25 地点を調査しています。今まで実施した調査では、特に大きな変化は見られませんでした。

2 自然環境教室

自然観察を通じて身近な自然の大切さについて理解していただくために、年 3 回自然環境教室を開催しています。(開催内容については、「各種環境教室・環境講座・生涯学習出前講座の実施」(109～110 ページ)を参照。)

3 ホームページ等での啓発

身近に生息している生き物について知る機会を増やすために、平成 17 年度より、ホームページ上に「身近な生き物大図鑑」を掲載し、市内に生息する生き物約 600 種類を紹介しています。

また、平成 27 年度からは生き物についてのコラムを掲載し、季節の生き物の特徴や生態について解説しているほか、市が毎月発行している「市政だより」にも身近な生き物を紹介する記事を掲載しています。



身近な生き物大図鑑
市ホームページのトップページ

4 身近な生き物基本調査会議の開催

生き物の各分野における専門的な知識を有する方々(身近な生き物基本調査会議委員)により構成される会議であり、本市の身近な生き物の生息状況や生態情報、市の啓発事業等、生き物に関することについて、専門的な立場からご意見をいただいています。

【身近な生き物とは…】

市内で確認された哺乳類、鳥類、は虫類、両生類、魚類、昆虫類、植物の中から、「会津若松市身近な生き物基本調査会議」で、下記の2つの基準で約600種の生き物が選定されています。

- (1) 市内での生息が確認されている生き物
- (2) 市民が比較的容易に見ることができ、わかりやすい生き物。
または季節感の指標となる生き物(ウグイスやアブラゼミなど)など
市民の生活につながりのある生き物。



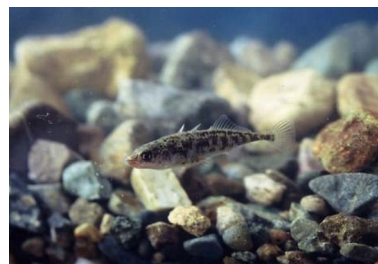
ニホンリス



ミヤマクワガタ



アカハライモリ



イトヨ

特集 「猪苗代湖環境保全推進事業」

(担当課：環境生活課)

1 猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦と水環境講座

■実施期間：令和5年8月5日・26日、
9月23日

■実施箇所：猪苗代湖の各浜

■内 容：住民参加で実施

2 猪苗代湖環境保全推進連絡会の取組

①ビーチクリーナーによる湖岸清掃

■実施期間：令和5年4月～令和5年11月

■実施箇所：猪苗代湖の各浜

■実施日数：延べ36日



ビーチクリーナーによる湖岸清掃

②ヨシ屑や流木等湖岸堆積物の除去

■実施期間：令和5年8月～11月

■実施箇所：松橋浜、志田浜、天神浜、白鳥浜

③子ども交流会

令和5年11月10日（金） 郡山ユラックス熱海開催

■内 容：郡山市立湖南小中学校、猪苗代町立翁島小学校、会津若松市立湊小学校の児童による猪苗代湖の環境保全に関する活動事例報告

3 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会の取組み

①猪苗代湖クリーンアクション

■開催日：令和5年6月24日

■場 所：猪苗代湖舟津浜、舟津公園

■参加者：520名

■内 容：ヨシくず、ごみの回収

②猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム

■開催日：令和5年11月18日

■場 所：猪苗代町体験交流館（学びいな）

■参加者：139名

■内 容：猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト表彰式、事例発表

4 紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト会議の取組

○ヒシ回収

■実施時期：令和5年7月～9月

■実施場所：猪苗代湖北岸部

■回収量：277トン

5 NPO法人「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」の取組

○漂着水草回収

■実施期間：令和5年10月～11月

■参加者：648名（延べ人数）

■回収量：33m³

6 猪苗代湖流入河川等水質調査

本市では、猪苗代湖及び流入河川の水質を把握するため、昭和 59 年度から水質調査を実施しています。赤井川、原川、猪苗代湖（中田浜）の 3 地点について毎月 1 回（1、2 月は除く）実施しています。

猪苗代湖（中田浜）の水質は、他の河川や湖沼と比べ大変良好な水質であるといえますが、平成になる頃から pH が上昇して中性化しており、COD と総リンも上昇する傾向にあります。

猪苗代湖の流入河川である赤井川と原川の水質は良好で安定していますが、水田の代掻きや田植えの影響と考えられる水質の悪化が一時期発生します。

（関連資料：126 ページ 資料 9）

市では今後も継続して水質調査を実施し、猪苗代湖の水質保全に努めていきます。

～ ひとくちメモ ～

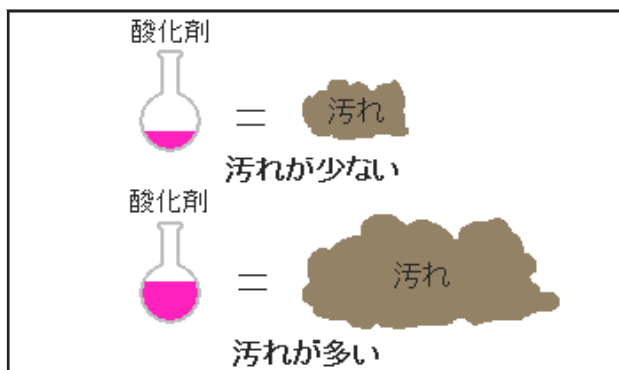
■ BOD（生物化学的酸素要求量）

河川等の有機物による汚れを表す指標で、水中の有機物の微生物が分解（酸化）する際に消費する酸素の量を測定することで、間接的に水の汚れを測定することができます。数値が大きいほど汚れが大きいことを示します。

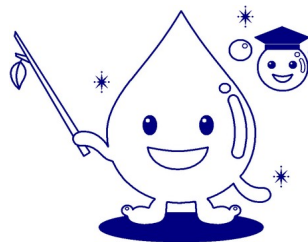


■ COD（化学的酸素要求量）

主に有機物による水の汚れを示す指標で、有機物を酸化分解するのに使われた酸素の量に換算したもので、数値が大きいほど水が汚れていることを示します。

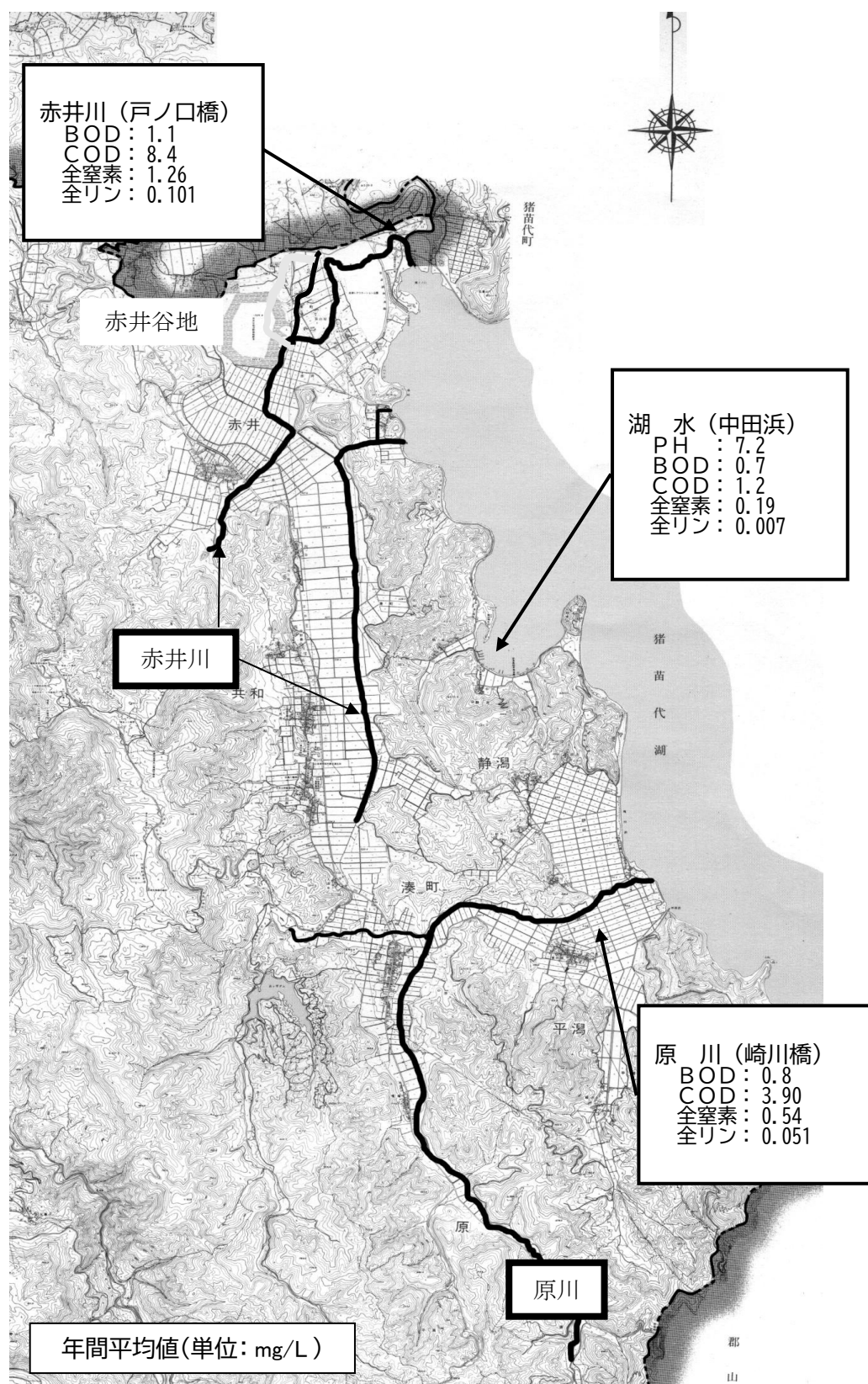


河川の場合は BOD、湖沼や
海域の場合は COD を用いて
水質を評価します

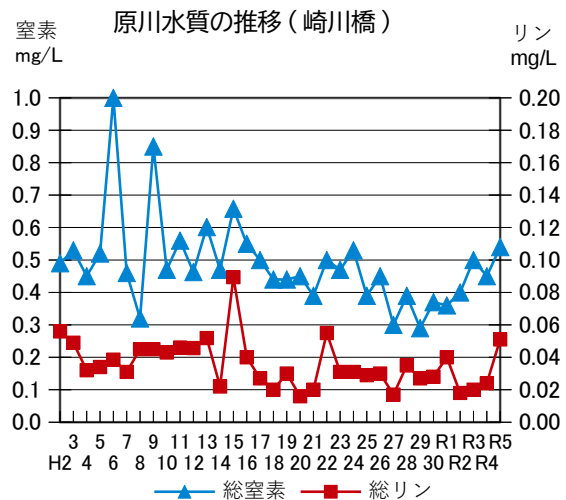
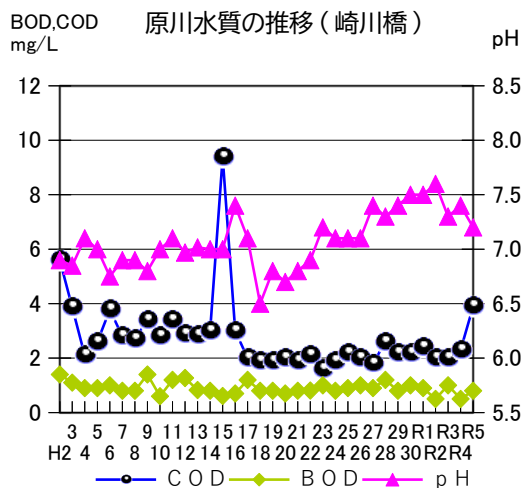
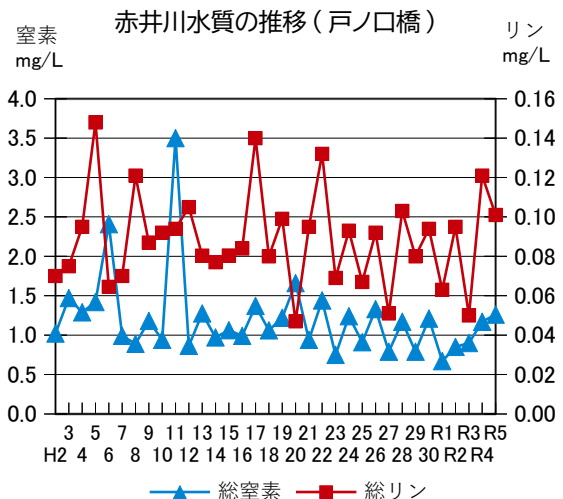
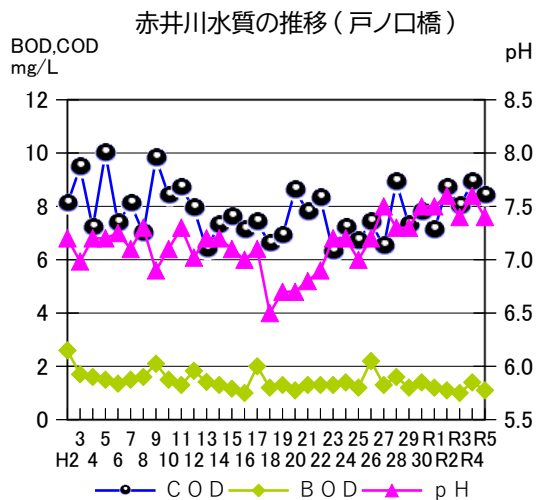
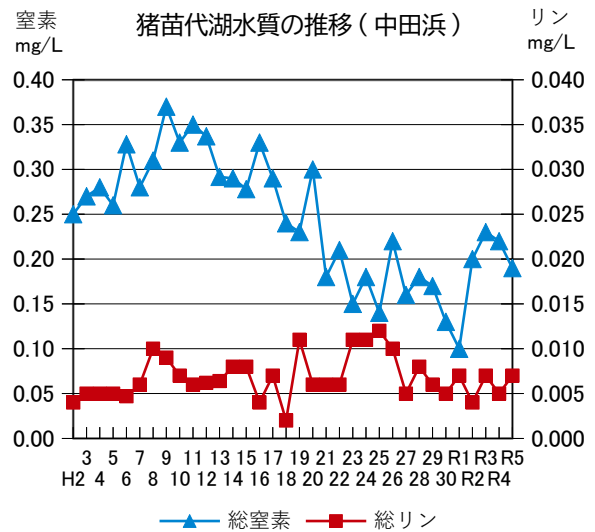
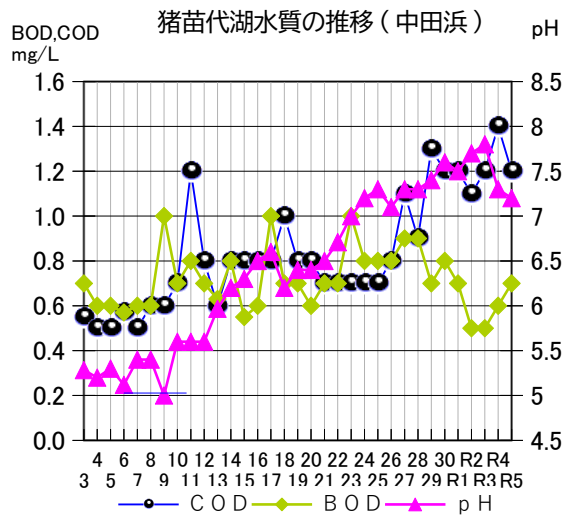


市水環境キャラクター
みずくん・たまちゃん

◆令和5年度 猪苗代湖流入河川等水質調査結果



◆猪苗代湖および流入河川の水質経年変化(年間平均値)

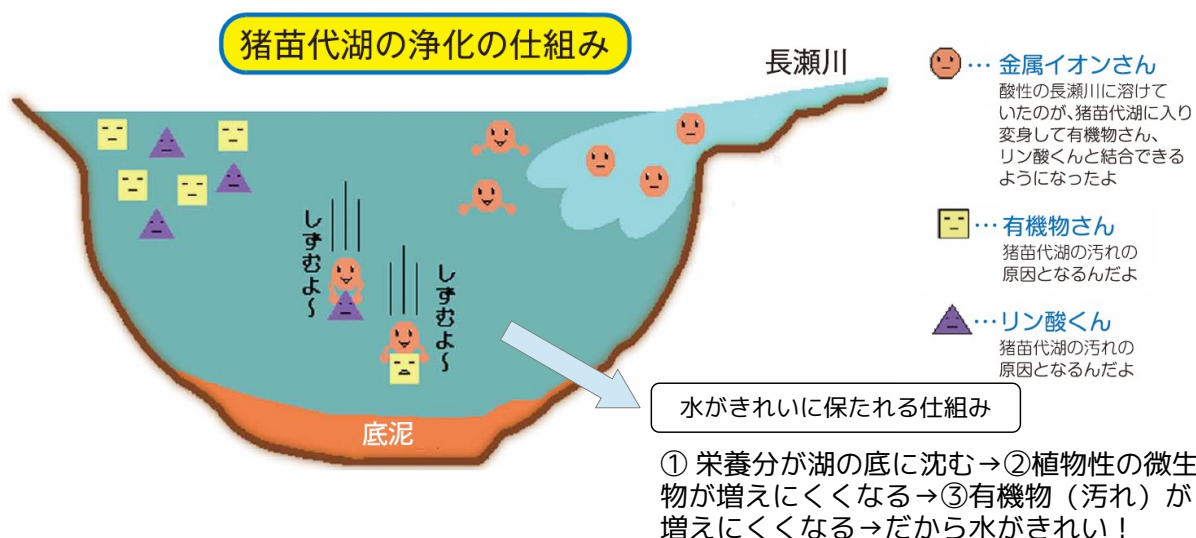


7 猪苗代湖の現状

(1) 自然の浄化作用

猪苗代湖には、猪苗代町の北部から流れる酸川（すかわ）が長瀬川と合流して流れ込んでいますが、酸川の水は強酸性で、鉄やアルミニウム等の金属イオンが溶け込んでいます。

猪苗代湖に入ると、それまで溶けていた金属イオンが形を変えて、有機物（汚れ）やリン酸（植物の栄養）と結びつき、湖の底に沈みます。この自然の浄化作用により、猪苗代湖の水質が良好に保たれていると考えられています（下図参照）。



【酸川の特徴】

長瀬川の支流の一つで、かつての硫黄鉱山からの地下水や、沼尻・中ノ沢温泉の源泉の影響で強酸性（pH 2）を示す河川です。見た目は透明で川原の石もきれいですが、強酸性のため鉄やアルミニウムなど様々な金属イオンを含んでいます。



酸川

【長瀬川の特徴】

裏磐梯から猪苗代湖に流入している河川です。猪苗代湖に流入する水の約40%が長瀬川から入っています。途中で酸川と合流し、酸性成分を湖に運んでいます。合流直後は、中和により酸性度が下がり（pH 3～4）、鉄イオンが固体化するため、川原の石に鉄分が付着し茶色に染まっています。



長瀬川

参考

【福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例】

福島県では、水環境悪化を未然に防止し、将来に渡って良好な水環境を保全していくため、平成14年3月に「福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例」を制定しました。

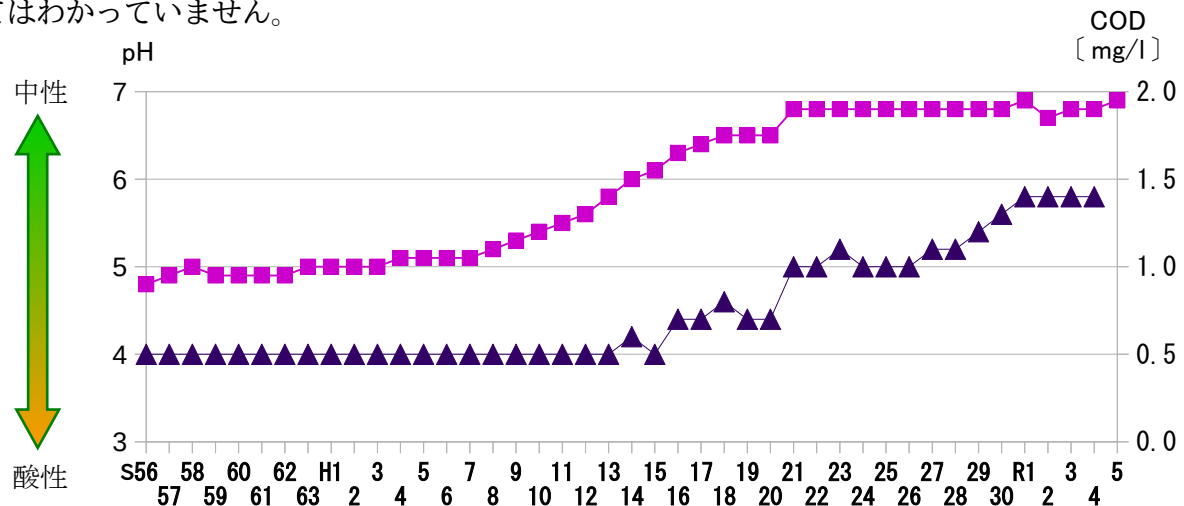
条例では、県民、事業者、行政の責務や富栄養化を防止するための窒素・リンの排出規制など、水質汚濁防止のための各種規制等が盛り込まれています。

排出規制値は、霞ヶ浦など富栄養湖に対する基準値と同等の厳しいものになっています。

(2) pHの中性化

pH 5 前後の弱酸性を保ってきた猪苗代湖ですが、平成8年頃からpHが上昇しはじめ、平成18年度以降はpH 6.5以上となり、令和5年度はpH 6.9であったことから、ほぼ中性になっています。

猪苗代湖が中性化した原因は様々考えられ、その一つとして、酸川（猪苗代湖に流入する長瀬川の支流）に含まれている酸の量が減ったことが考えられていますが、詳細についてはわかっていません。



■猪苗代湖心の水質変化（CODの上昇）

猪苗代湖の中性化に伴い、湖水の汚れを現す指標であるCODの値も上昇傾向にあります。これは、猪苗代湖の自然の浄化作用の低下や湖内における生産（プランクトン等の水生生物の繁殖）の増大などが考えられます。水質が悪化することが懸念されるため、県や流域市町村等では水質改善に向けて様々な取組を行ってきました。市では、今後とも継続的に水質改善に取り組んでいきます。

【水質改善の取組例】

猪苗代湖上流域での下水道や高度処理合併浄化槽の普及促進
 猪苗代湖岸の清掃や漂着水草・ヒシのボランティアによる回収
 水環境にやさしい農業の推進 など

(3) 全国湖沼水質ランキング（ベスト5）について

猪苗代湖は、環境省発表の公共用水域水質測定結果による湖沼の水質ランキング（ベスト5※平成28年度以前はCOD値、大腸菌群数などによりランク付け。平成29年度以降はCOD値のみによりランク付け。）において、平成14年から17年の4年間は1位でしたが、その後、平成20年度以外はCOD値の増加や大腸菌群数の環境基準超過によりベスト5外となっています。近年のCOD値のみによるランキングは以下のとおりです。
 令和元年度15位、令和2年度14位、令和3年度18位、令和4年度15位

(4) 湖沼の環境基準について

国では当初、環境基準として大腸菌群数を採用していましたが、近年、大腸菌を検出する技術が進歩し、ふん便汚染によるものと、自然由来のものとを分けて検出することができるようになったため、令和4年4月から基準を大腸菌数に見直しました。なお、猪苗代湖で検出される大腸菌群については、ほとんどが自然由来であることが判明しています。